



モニタリング

使用できるモニタリングオプションは、ユーザーロールによって異なります。

- エージェントのモニタリング (1 ページ)
- 適用ステータス (6 ページ)
- ポリシー更新の一時停止 (8 ページ)
- ライセンス (10 ページ)

エージェントのモニタリング

このページには、現在選択されているルート範囲に基づいて、クラスタ内のすべての監視対象エージェントの数が表示されます。



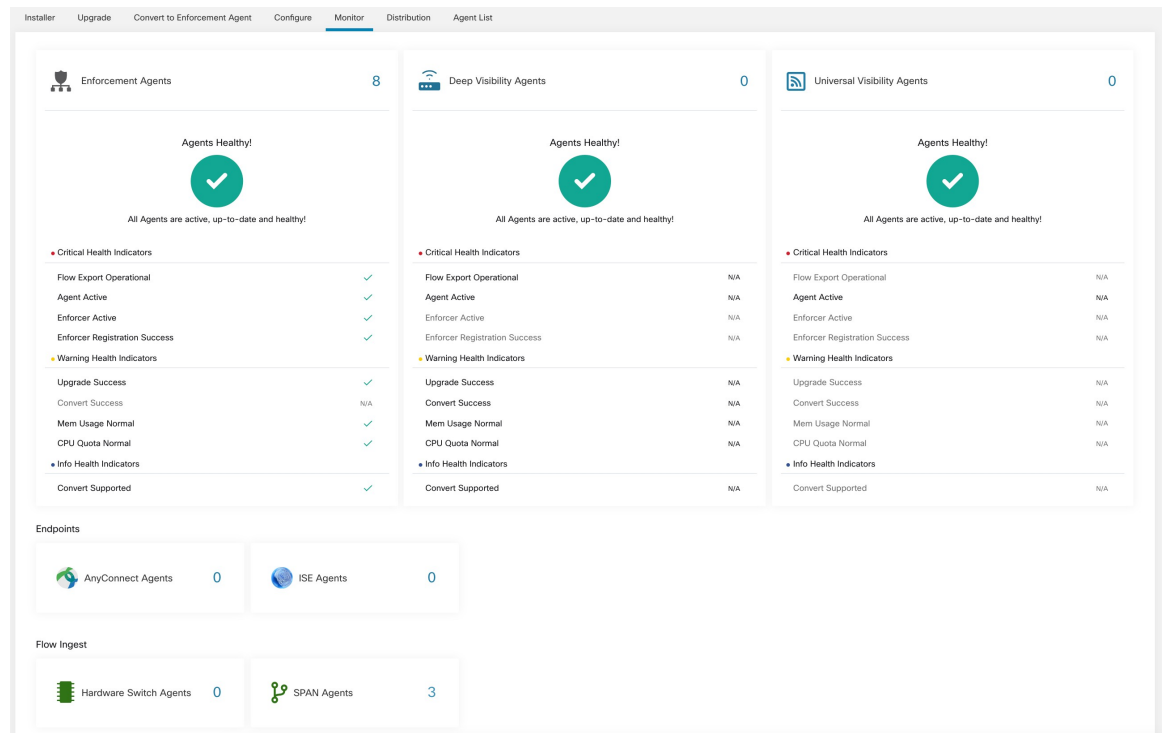
-
- (注) インベントリの総数は、収集ルールを適用した後にネットワーク上で観察されたすべてのインベントリの合計です。
-

エージェントのモニタリング

エージェントを監視するには、左側のナビゲーションバーで[管理 (Manage)] > [エージェント (Agents)] をクリックし、[監視 (Monitor)] タブをクリックします。

このページは、**サイト管理者**および**カスタマーサポート**の役割を持つユーザーのみが利用できます。**範囲所有者**は、インベントリ、優れた可視性エージェント、および適用エージェントを表示できます。

図 1: インストールされているエージェントの総数



次の表は、エージェントタイプごとの違いを示しています。

Agent Type	説明
優れた可視性	時系列フローデータ、ホストで実行されるプロセスに関して最高の忠実度を提供します。ほとんどの Linux および Windows プラットフォームがサポートされています。 sw_agents_deployment-label を参照してください。
施行	優れた可視性エージェントで使用可能なすべての機能を提供します。それに加えて、適用エージェントはインストールされているホストに対してファイアウォールルールを設定することができます。

<p>AnyConnect</p>	<p>Network Visibility Module (NVM) を備えた AnyConnect セキュア モビリティ エージェントを実行しているエンドポイントで時系列フローデータを提供します。Cisco Secure Workload エージェントのインストールは必要ありません。NVM によって生成された IPFIX レコードは、Secure Workload AnyConnect プロキシコネクタに送信されます。Windows、Mac、および特定のスマートフォンのプラットフォームがサポートされています。</p>
<p>ISE</p>	<p>Cisco ISE に登録されているエンドポイントに関するメタデータを提供します。ISE コネクタは、ISE pxGrid を介してメタデータを収集し、ISE エージェントが ISE アプライアンスから取得した属性とエンドポイントにログインしたユーザーの LDAP 属性に基づいてラベルをプッシュするときに ISE エンドポイントを Secure Workload に登録します。</p>
<p>ハードウェアのスイッチ</p>	<p>ホストごとのエージェントのインストールを必要とせずに、最高のスループットのフロー分析を提供します。Cisco N9K スイッチのオペレーティング システムにインストールする必要があります。</p>
<p>次の表は、Cisco Secure Workload が提供するさまざまなアプライアンスエージェントの概要を示しています。</p>	
<p>アプライアンスエージェント</p>	<p>説明</p>
<p>SPAN</p>	<p>ホストごとのエージェントのインストールを必要とせずに、フロー分析を提供します。Secure Workload ERSPAN VM アプライアンスで実行されます。任意の Cisco スイッチから発信された ERSPAN パケットを消費します。</p>



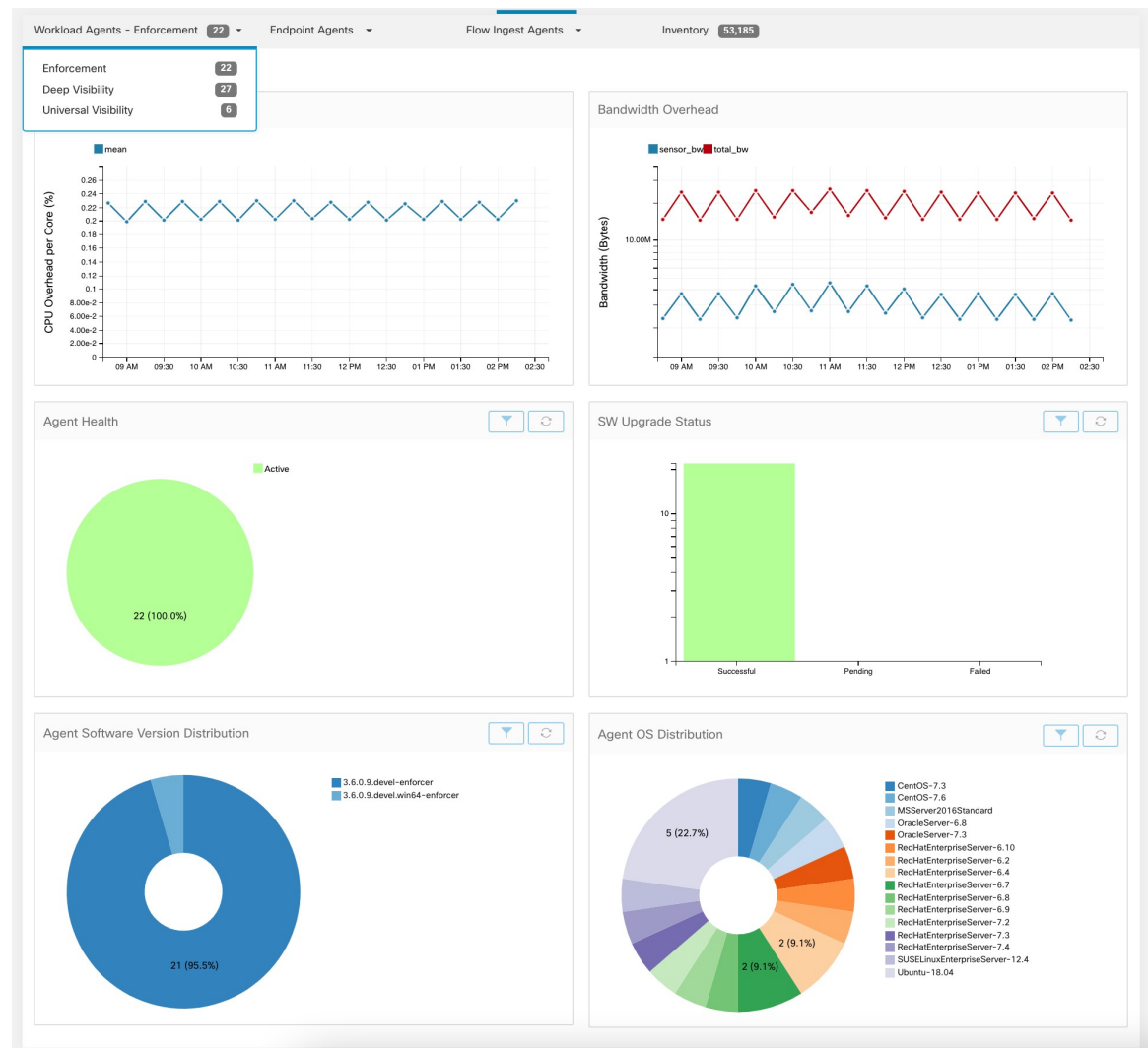
(注) NetFlow、NetScaler、F5、AWS、AnyConnect Proxy などのアプライアンスエージェントが、コネクタとしてサポートされるようになりました。コネクタの詳細については、「[コネクタとは](#)」を参照してください。

ゼロ以外のエージェントタイプのボタンを押すと、各エージェントタイプの分布にさらにドリルダウンできます。

ソフトウェアエージェント

次のすべてのグラフは、詳細可視性タイプと適用エージェントタイプの両方で使用できます。

図 2: エージェントの分布



このページには、エージェントタイプごとに、全体的な CPU オーバーヘッド、帯域幅のオーバーヘッド、欠落したパケット、OS/バージョンの分布、エージェントのアップグレードステータスなど、登録されたエージェントの概要と正常性が表示されます。

[CPUオーバーヘッド (CPU Overhead)] チャート

[CPUオーバーヘッド (CPU Overhead)] チャートには、全エージェントからのコアごとの CPU オーバーヘッド集計ビューが表示されます。エージェントごとの CPU オーバーヘッドは、ワークロードプロファイルの一部として表示されます。このチャートは、詳細可視性タイプと適用エージェントタイプでのみ使用できます。

[帯域幅オーバーヘッド (Bandwidth Overhead)] チャート

[帯域幅オーバーヘッド (Bandwidth Overhead)] グラフには、総帯域幅とエージェントが使用する帯域幅の集約された統計が表示されます。エージェントごとの帯域幅オーバーヘッドは、ワークロードプロファイルの一部として表示されます。このチャートは、詳細可視性タイプと適用エージェントタイプでのみ使用できます。

[エージェントの正常性 (Agent Health)] チャート

[エージェントの正常性 (Agent Health)] チャートには、アクティブ/非アクティブなエージェントの数が表示されます。アクティブなエージェントは、アップグレードのためにコンフィギュレーションサーバーに定期的にチェックインするエージェントです。チェックインの間隔は30分です。エージェントが2回を超えてチェックイン期間にチェックインしなかったことがわかった場合、そのエージェントは非アクティブなエージェントと宣言されます。

[最新のリリースへのソフトウェアエージェントの更新 (Software Agent Updates to Latest Revision)] チャート

エージェントがコンフィギュレーションサーバーにチェックインするたびに、エージェントは現在のRPMバージョンも提示します。エージェントが特定のバージョンに設定されていて、2回のチェックイン期間後に更新できていなかった場合、そのエージェントは最新バージョンにアップグレードできないと宣言されます。

[欠落エージェントパケット (Agent Packet Missed)] チャート

まれに、ホストを通過するトラフィック量がエージェントの検査できるレートよりも多い場合、一部のパケットが分析からスキップされます。欠落パケット数と対応するエージェント名がこのチャートに表示されます。

[エージェントのソフトウェアバージョン/OS分布 (Agent Software Version/OS Distribution)] チャート

これらのグラフには、Secure Workload クラスタに登録されているすべてのエージェントのエージェントバージョン分布と親OSプラットフォームが表示されます。

ハードウェアスイッチエージェント

[ハードウェアスイッチエージェント (Hardware Switch Agents)] タブには、特定のクラスタに登録されているすべてのスイッチのステータスが表示されます。

図 3: ハードウェアスイッチエージェント テーブル

Serial	IP Address	Name	Switch SW Ver	Agent SW Ver	Bootup Time	Last Check-in	First Check-in
FDO21422XGS	172.21.90.73	B4-164-E25-SwitchFarm16	bootflash:/nos.7.0.3.17.2.bin	3.6.0.9.devel	May 15, 10:21 PM	3:38 PM	Aug 7, 3:34 AM
FDO21480B4B	172.21.90.69	B4-164-E25-SwitchFarm12	bootflash:/nos.9.2.1.bin	3.6.0.9.devel	May 15, 10:21 PM	3:38 PM	Aug 7, 3:38 AM

[最終チェックイン (Last Check-in)] 時刻は、コンフィギュレーションサーバーが該当するスイッチからメッセージを受信した時刻を示します。アクティブなハードウェアエージェントの場合、エージェントは定期的にコンフィギュレーションサーバーにメッセージを送信すると予想されるため、この時刻は現在の時刻から5分以内である必要があります。

適用ステータス

適用ステータスを表示するには、ウィンドウ左側のナビゲーションバーの [保護 (Defend)] > [適用ステータス (Enforcement Status)] をクリックします。

このページは、サイト管理者/カスタマーサポートユーザーと範囲所有者が、全適用エージェントの現在のステータス概要を取得するために使用できます。エージェントごとに、適用される具体的なポリシーの現在必要なバージョンが、適用された最後のバージョンとともに表示されます。エージェントのステータスをフィルタリングするには、次の3つの方法があります。

1. ファセットフィルタによるフィルタリング
2. 有効化された適用のステータス、ポリシー設定、および具体的なポリシーの生成に基づく分布図を使用してフィルタリングします。
3. ルート/子範囲によるフィルタリング：SA/CS ユーザーには範囲フィルタをオン/オフにするオプションがあり、範囲所有者ユーザーは範囲フィルタをオフにできません。

図 4:すべてのテナントによるフィルタリング：サイト管理者

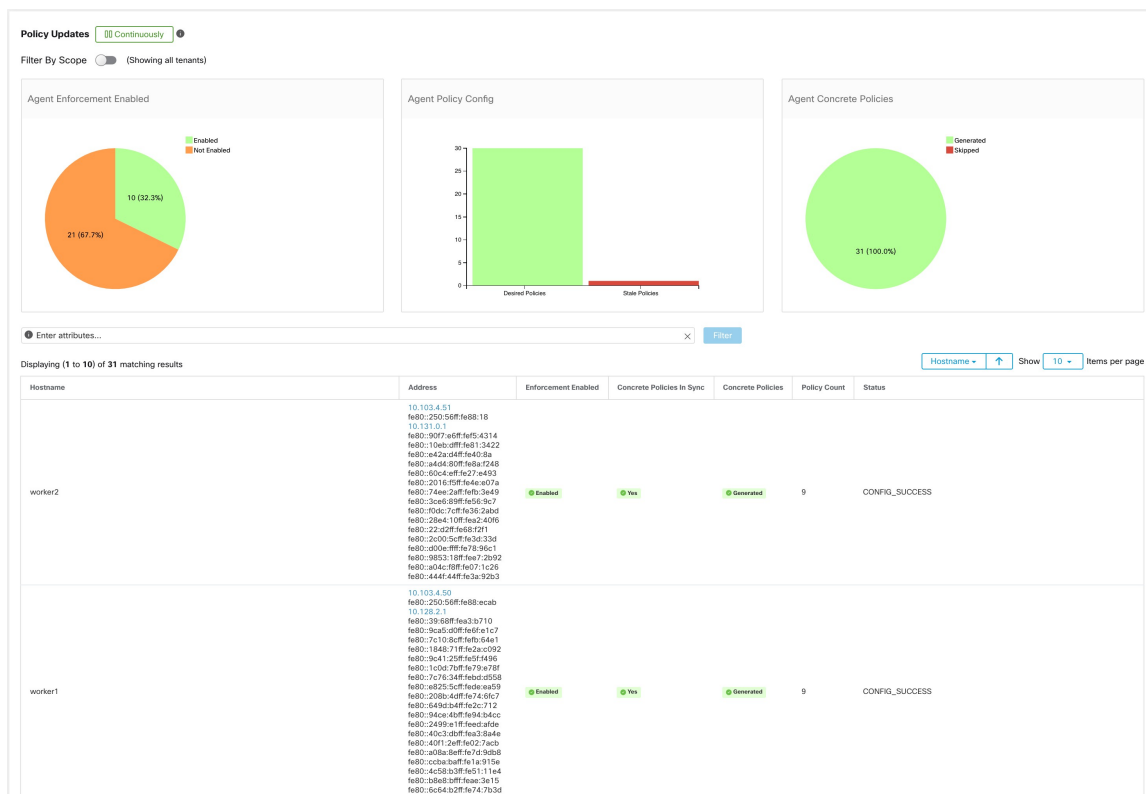


図 5: ルート子範囲によるフィルタリング：サイト管理者

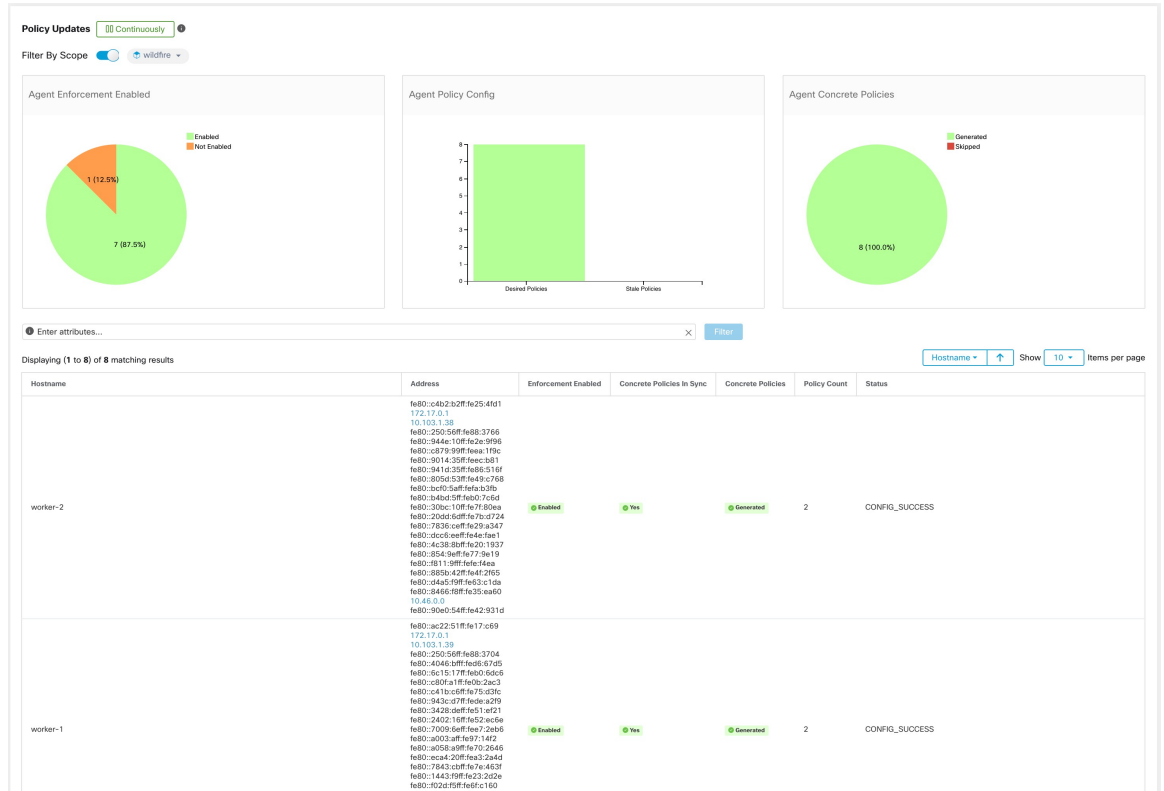
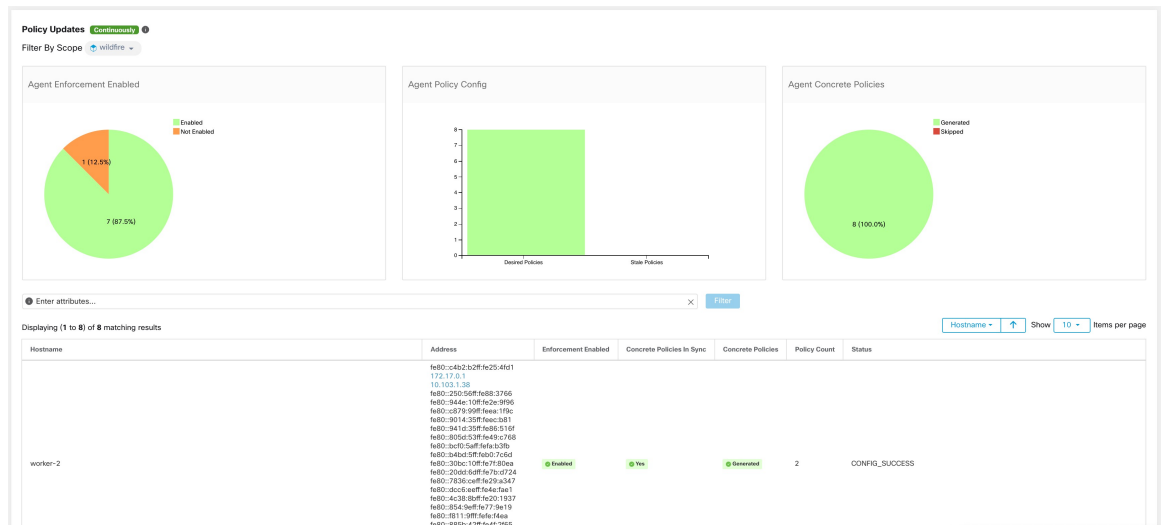


図 6: ルート子範囲によるフィルタリング：範囲所有者



次の表で、適用ステータステーブルに表示されるフィールドについて説明します。

フィールド	説明
[Host Name]	エージェントのホスト名。

アドレス (Address)	エージェント上の全インターフェイスの IP アドレス。これらのアドレスから、このエージェントの具体的なポリシーが一覧表示されるエージェントのホストプロファイルに移動できます。
[有効化された適用 (Enforcement Enabled)]	エージェントで適用が有効になっているかどうかを示します。
[同期されている具体的なポリシー (Concrete Policies in Sync)]	必要なバージョンの具体的なポリシーが現在エージェントに適用されているかどうかを示します。
[具体的なポリシー (Concrete Polices)]	このフィールドは、ホストの具体的なポリシーの生成がスキップされるかどうかを示します。スキップは、すべての具体的なポリシーの合計サイズが 2.5 MB または 7.5 MB を超える場合に発生します。
[ポリシー数 (Policy Count)]	エージェントのポリシー数。
ステータス (Status)	最新のポリシー設定適用のステータス。ステータスが [CONFIG_SUCCESS] の場合、現在のバージョンが問題なく適用されていることを示します。

クラウドコネクタの適用ステータス

AWS または Azure クラウドコネクタを設定している場合：

すべてのインターフェイスの適用ステータスを、適用ステータスページで確認できます。ポリシーが正常に適用された場合、ポリシーが同期していることがわかります。そうでない場合は、対応するエラーメッセージが表示されます。

適用ステータスページのポリシー数は Secure Workload アカウンティングで、AWS または Azure ルールアカウンティングではありません。

(AWS のみ) このページのホスト名フィールドは、パブリック DNS から取得されます。指定された VPC でパブリック DNS が有効になっていない場合、ホスト名フィールドは空になります。

ポリシー更新の一時停止

すべての適用対象エンドポイントにおけるファイアウォールルールの更新は、トグルボタンを使用して一時停止または一時停止解除できます。この機能は、サイト管理者およびカスタマー

サポート用です。一時停止および一時停止解除は、ユーザーの現在の範囲に関係なく、グローバル設定であることに注意してください。



警告 一時停止および一時停止解除は、ユーザーの現在の範囲に関係なく**アプライアンス全体に適用される設定**です。ユーザーの現在の範囲より範囲が広い一連のワークロードでポリシーの適用に影響を与える可能性があるため、この操作中は注意してください。

図 7: ファイアウォールルールが継続的に更新されている場合

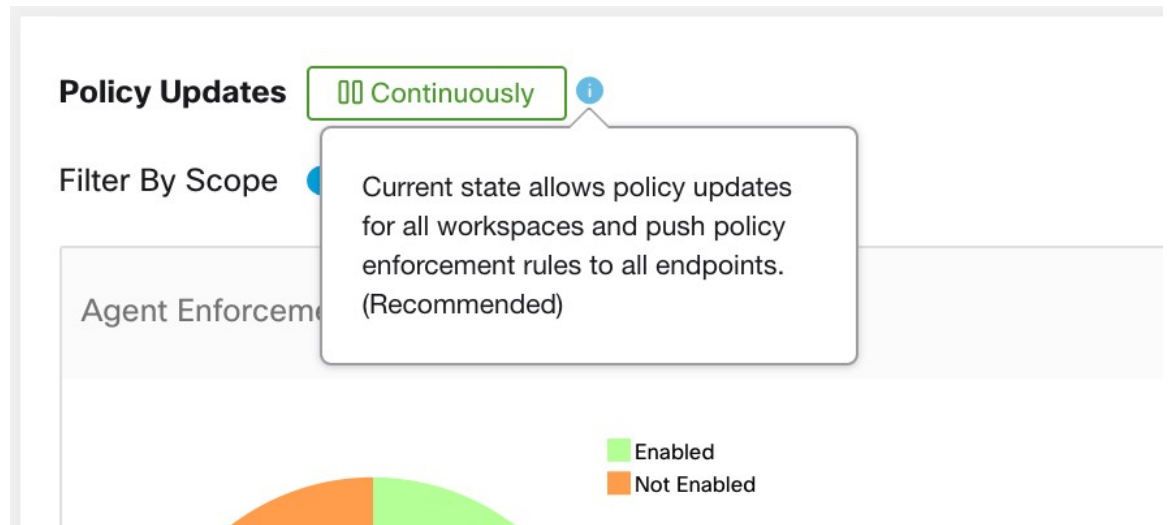
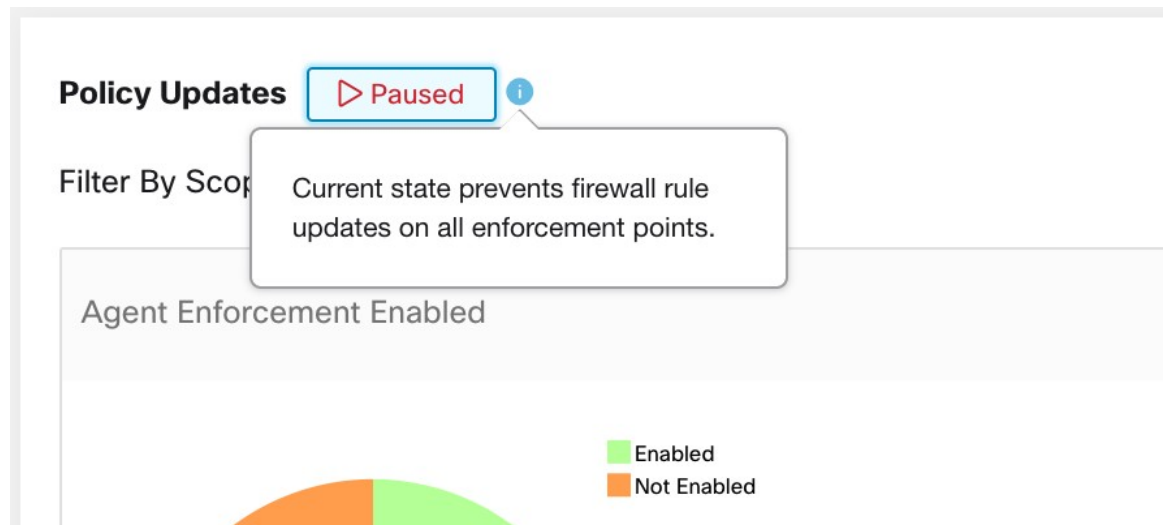


図 8: ファイアウォールルールの更新が一時停止されている場合

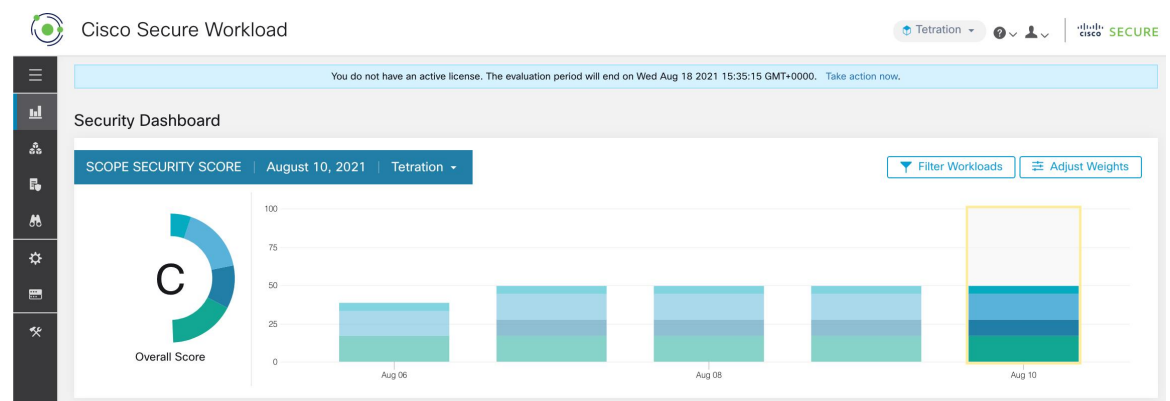


ライセンス

Secure Workload ライセンスのステータスを表示するには、ウィンドウの左側にあるナビゲーションバーで、[管理 (Manage)] > [ライセンス (Licenses)] をクリックします。

このページは、サイト管理者が現在のライセンスステータスとライセンス使用状況の概要を取得するために使用します。このリリース以降では、オンプレミスでの展開用にクラスタを登録する必要があります。このリリースで新しいクラスタにアップグレードするか、新しいクラスタを展開すると、ソフトウェアは自動的に 90 日間の評価モードに入ります。バナーが表示され、評価の有効期限が示されます。

図 9: ライセンスバナー



(注) 90日以内に登録が正常に完了しなかった場合、バナーメッセージはコンプライアンス不適合に変わります。登録がないため、ブロックされる機能はありません。

図 10: [監視 (monitoring)]-[ライセンス (licenses)]ページで表示される詳細なライセンス情報

Cisco Secure Workload

Tetration

License Usage Information

Licensing Status: Not Registered [Take Action](#)

Evaluation Period Ends At: Tue Nov 09 2021 08:07:08 GMT+0000

0 Total Workload License Usage

Agent Type	Agent Count	License Per Agent	Sub Total Usage
Visibility	0	1	0
Enforcement	0	1	0
Hardware Switch (number of line cards)	0	100	0
SPAN	0	50	0
NetFlow	0	50	0
Visibility Container Hosts	0	10	0
Enforcement Container Hosts	0	10	0

0 Total Endpoint License Usage

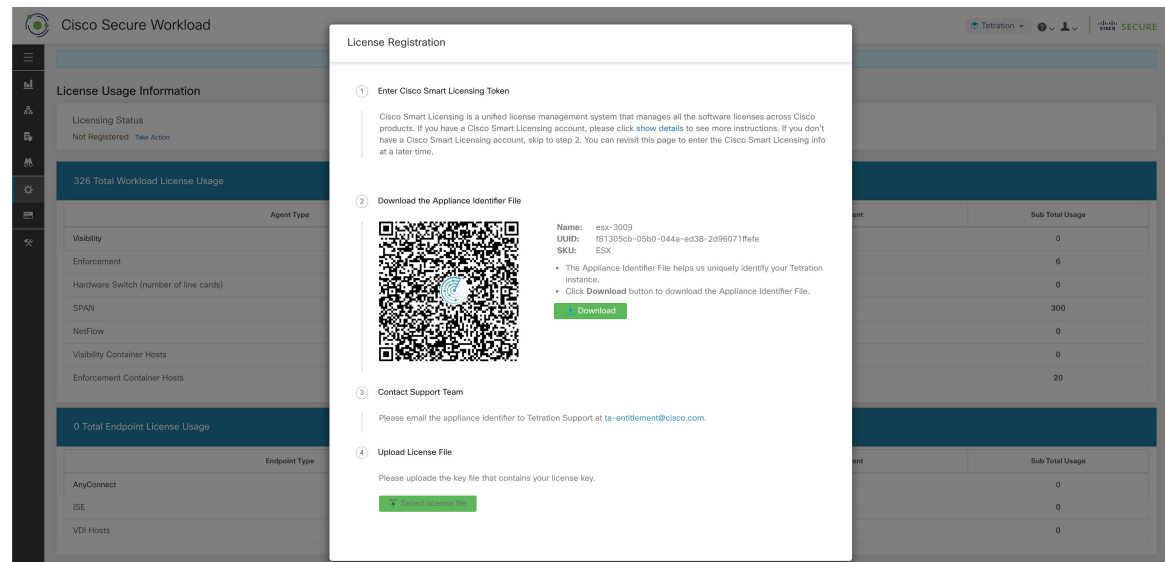
Endpoint Type	Endpoint Count	License Per Agent	Sub Total Usage
AnyConnect	0	1	0
ISE	0	1	0
VDI Hosts	0	1	0

ライセンス登録

このセクションでは、ライセンスの取得方法について説明します。

ライセンスバナーまたは [管理 (Manage)]>[ライセンス (Licenses)]ページで [アクションの実行 (Take Action)]をクリックして、ライセンスを要求します。クラスタ識別ファイルをダウンロードする方法とライセンスを取得する方法についての説明が表示されます。

図 11: ライセンス登録モーダル : クラスタ識別ファイルのダウンロード



- ステップ 1** ライセンス登録モーダルを完了するには、[CSSM スマート ソフトウェア ライセンス ポータル](#)で生成された登録トークンが必要です。CSSM を使用してトークンを生成する手順は、ライセンスモーダル自体に表示されます。登録トークンを取得したら、トークンをコピーしてライセンスモーダルのテキストボックスに貼り付け、テキストボックスの横にある [送信 (Submit)] ボタンをクリックします。
- ステップ 2** 次に、[Download] ボタンをクリックして、クラスタ識別ファイルをローカルストレージにダウンロードします。識別ファイルのファイル名形式は `reg_id_<cluster_name>_<cluster_uid>.gz` です。ID ファイルには、IP アドレス情報、特定のワークロードの詳細、または PII 情報は含まれていません。この ID ファイルを ta-entitlement@cisco.com に送信する必要があります。ライセンスキーファイルを含む応答が、識別ファイルを受信したときと同じ電子メールアドレスに送信されます。
- ステップ 3** このライセンスキーファイルをライセンスモーダルからアップロードする必要があります。応答ファイルをアップロードするには、ライセンスモーダルの手順 4 を使用します。

ライセンス使用状況の確認

このセクションでは、詳細なライセンス使用状況を確認する方法について説明します。左側のナビゲーションバーで、[管理 (Manage)] > [ライセンス (Licenses)] をクリックします。

図 12: ライセンステーブルと詳しい使用状況

0 Total Workload License Usage			
Agent Type	Agent Count	License Per Agent	Sub Total Usage
Visibility	0	1	0
Enforcement	0	1	0
Hardware Switch (number of line cards)	0	100	0
SPAN	0	50	0
NetFlow	0	50	0
Visibility Container Hosts	0	10	0
Enforcement Container Hosts	0	10	0

0 Total Endpoint License Usage			
Endpoint Type	Endpoint Count	License Per Agent	Sub Total Usage
AnyConnect	0	1	0
ISE	0	1	0
VDI Hosts	0	1	0





(注) 登録後、ライセンス使用量がエンタイトルメント（ワークロードまたはエンドポイント）を超えると、非準拠の警告バナーが UI に表示されます。ライセンス使用量を上回っても、追加センサーのインストールを含め、どの機能もブロックされることはありません。使用量がエンタイトルメントを下回ると、準拠に関する警告バナーは消えます。追加のライセンスを購入した場合は、ID 情報（ライセンスモデルから再度ダウンロード）とともに ta-entitlement@cisco.com に連絡して、更新されたライセンスキーファイルを要求できます。

Cisco Smart Licensing の詳細

Cisco スマートライセンスは統合ライセンス管理システムであり、Cisco 製品のソフトウェアライセンスすべてを管理します。Cisco Smart Licensing アカウントを持っている場合は、Cisco Smart Licensing Token を Secure Workload ライセンスに関連付けることができます。Cisco Smart Licensing アカウントを持っていない場合は、Cisco Smart Licensing なしでライセンスを取得または更新できます。

ステップ 1 有効な Secure Workload ライセンスをすでに持っている場合は、[登録する新しいライセンスをリクエスト (Request A New License To Enroll)] をクリックして、Cisco Smart Licensing Token を使用して新しいライセンスを取得できます。

図 13: 新しいライセンスを取得して、**Cisco Smart Licensing Token** をライセンスに **Secure Workload** に関連付ける

	Licensing Status Registered Update License	Issued At Wed Jul 10 2019 19:05:09 GMT+0000	Expiration Date Tue Sep 10 2019 19:05:09 GMT+0000	Cisco Smart Licensing  Not Enrolled ⓘ Request A New License To Enroll
---	--	---	---	--

ステップ 2 有効な Secure Workload ライセンスがない場合は、前のセクションの説明に従い、[アクションの実行 (Take Action)] をクリックして新しいライセンスを取得できます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。